

令和元年10月三木市教育委員会（定例会）会議録

1 開催日程

- (1) 開 会 令和元年10月23日（水）午後3時00分
- (2) 閉 会 令和元年10月23日（水）午後5時10分

2 場 所 三木市役所 5階 大会議室

3 議事日程

- 第 1 会議録署名委員の指名について
- 第 2 会議録の承認について
- 第 3 会議の非公開の決定について
- 第 4 報告事項 三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について
- 第 5 報告事項 三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について
- 第 6 報告事項 令和元年度三木市教育功労賞被顕彰者の決定について
- 第 7 報告事項 各課の所管事項について
- 第 8 その他
- 第 9 次回定例会の開催日程について

4 出席者

教 育 長	西 本 則 彦
委 員	石 井 ひろ美
委 員	浦 崎 秀 一
委 員	大 北 由 美
委 員	實 井 政 治

5 欠席者 なし

6 事務局出席者

教 育 総 務 部 長	石 田 英 之
教 育 振 興 部 長	奥 村 浩 哉

教育振興部次長	岩 崎	恵
教育総務課長	五百蔵	一 也
教育施設課長	長 池	陽 作
文化・スポーツ課長	金 井	善 純
学校教育課長	坂 田	直 裕
教育センター所長	橋 本	泰 一
教育・保育課長	正 心	均
生涯学習課長	近 藤	豊
図書館長	伊 藤	真 紀
教育総務課主任	橋 本	祥 子
教育総務課主事	藤 原	亮 太

7 傍聴者 1人

開 会

教育長が、令和元年10月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長が、三木市教育委員会会議規則第28条の規定により、本日の会議の会議録署名委員に、石井委員と實井委員を指名した。

日程第2 会議録の承認について

教育長が、令和元年9月定例会（19日開催）の会議録について委員に諮り、大北委員から、図書館の報告事項に対する委員の発言内容について修正を求める発言があったため、一部修正の上、教育長が委員に諮り、全員一致で承認された。

日程第3 会議の非公開の決定について

教育長が、議事の進行について委員に諮り、公開で審議することを決定した。

日程第4 報告事項 三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について

○五百蔵教育総務課長が、次のように説明した。

株式会社トップマン様より、三木市立三樹小学校に絵画（150万円相当）を寄贈いただいた。作者は中田晃陽氏、第5回日展に出展された「水辺」という作品である。感謝状は10月31日に贈呈予定である。

（石井委員）子どもたちにとって本物の絵画に触れることは素晴らしいが、職員室前の廊下の薄暗い中で展示されているため、照明等で見やすくなるよう検討していただきたい。

（西本教育長）大きさはどれくらいのものか。

（五百蔵教育総務課長）150号、約220センチ×160センチである。

（大北委員）三樹小学校では、それほどの大きさの絵画を飾る場所としては、職員室前が一番目に留まりやすいかと思う。

（西本教育長）直射日光等も関係するかと思われる。展示場所を検討できるのであればお願いします。

日程第5 報告事項 三木市教育委員会顕彰規則に基づく被顕彰者の決定について

○五百蔵教育総務課長が、次のように説明した。

三木ロータリークラブ様及び菊澤デザイン事務所様より、三木市立小学校及び特別支援学校に手話導入絵本（26万円相当）を寄贈いただいた。この手話導入絵本は、三木市出身のイラストレーターこゆり氏が企画デザインを行い、三木ロータリークラブ様が趣旨に賛同され、印刷製本費を支援し、完成したものである。表題は、「手話と一緒に覚える十二支『ねこどしなぜない？』」であり、児童の福祉学習の一環として、手話学習において使用する予定である。

なお、10月9日に寄贈を受け、同日に感謝状を贈呈した。

(西本教育長) 何部印刷され、各学校にどれくらい配布しているのか。

(五百蔵教育総務課長) 合計1,150冊寄贈いただいている。

(奥村教育振興部長) 各学校の最大の学年の人数に応じて配布数を決定し、どの学年でも一斉に使用できるようにしている。

(西本教育長) 三木ロータリークラブ様には、これまでも学校へ寄贈等様々なご支援をいただいている。三木市では、平成27年に三木市共に生きる手話言語条例を制定し、職員や市民の皆様、学校においても手話に対する理解を広める取組を進めていることから、今回寄贈いただいた。

日程第6 報告事項 令和元年度三木市教育功労賞被顕彰者の決定について

○金井文化・スポーツ課長が、次のように説明した。

三木市盆栽協会会員として長きにわたり、盆栽の普及や栽培技術の継承並びにさつき展を通じた市の花「さつき」の啓発に尽力された4人の方を三木市教育委員会顕彰規則第4条の規定に基づき、被顕彰者として決定した。本年は、三木市盆栽協会設立50周年の節目の年に当たる。金物まつり協賛事業の盆栽展の会場で、11月2日に感謝状を贈呈予定である。

(西本教育長) 平成17年に三木市と吉川町が合併した際に、盆栽協会も合併されている。設立50周年の節目に協会から推薦いただき、その功績を称え、感謝状を贈呈する運びとなった。

日程第7 各課の所管事項について

(1) 教育施設課報告事項

○長池教育施設課長が、次のように報告した。

学校施設整備工事等の進捗状況について報告する。市立小・中・特別支援学校25校の特殊建築物等定期点検業務委託と平田小学校給食調理場耐震診断業務委託は、9月末で完了した。今後は、点検報告で挙がってきた不良箇所について、順次改修を進めていく。平田小学校

給食調理場耐震診断業務委託は、大きな補強は必要ない予定で進めている。診断結果に基づき、県の評価委員会にかけ資料を作成する。学校情報教育機器（リース）については、タブレット端末の導入を全学校で完了した。現在は、教員が使用するノート型パソコンの導入準備を進めている。平田小学校エレベーター設置等工事については、管理棟及び教室棟を同時並行で基礎工事を進めている。別所小学校高圧電気設備更新工事は、経年劣化による設備の更新で、11月10日に停電の上、作業を行う予定である。

（西本教育長）タブレット端末について、学校現場での使用状況はどうか。

（橋本教育センター長）各校の校長に伺ったところ、教員たちは積極的に使用しているとのこと。実際に授業での使用は、まだ課題があるという意見が多かった。

（西本教育長）今月実施した教育委員会計画訪問指導における使用状況を報告願う。

（坂田学校教育課長）市内4校で計画訪問指導を実施した。授業の中で、教材を提示し、画像を比較する際にタブレット端末を使用していた。今後は、ひょうごがんばりタイム等を含め、使用頻度を増やしていく予定である。

（西本教育長）画像の比較や特別支援が必要な児童生徒の言葉の学習において、タブレット端末が活用されていた。また、タブレット端末の導入に合わせて、プリント作成ソフトも更新されている。

（坂田学校教育課長）プリント作成ソフトは、児童生徒がタブレットを用い、自己決定して自分に合った学習を進めていくことをねらいとしているものである。「みっきいすてっぷ」として、今後各校へ配布し、モジュール学習や授業において順次活用していく予定である。

（西本教育長）「みっきいすてっぷ」は、タブレット上での出題、回答、採点機能を備えている。学力向上策の一つであり、来年度から本格

的に稼働する予定である。

(大北委員) 授業の中でタブレット端末を使用することは課題があるとのことだが、教育委員会として、何に課題があるのかを早急に把握し、支援の方法について検討すべきである。

(橋本教育センター所長) 積極的に授業の中で取り入れている教員もいるが、全教員ができていない状況ではない。タブレット端末を使用する授業に負担を感じている教員もいるため、教育センターでの研修や校内研修を増やしていく予定である。

(大北委員) 教員にも得手不得手があるが、子どもたちのことを考え、授業内容の公平性が確保できるように取り組んでいただきたい。

(2) 文化・スポーツ課報告事項

○金井文化・スポーツ課長が、次のように報告した。

実施した事業として、みなぎの書道展審査を9月21日に審査員6人により実施し、229学校・園等からの出品点数8,634点中、特別賞100点、入賞600点が選出された。みなぎの書道展を10月5日から14日まで開催し、来場者は2,479人であった。堀光美術館では、企画展「橋田政明展(油絵)45年の歩み」を10月6日から22日まで開催し、来館者は571人であった。

今後の予定として、市民合唱祭が10月27日に文化会館で開催される。出演予定は14団体で、市内の学校からは、別所中学校及び吉川中学校が出演する。金物まつり協賛市民文化まつりとして、作品展示を11月2日から3日に文化会館で開催する。金物まつり協賛芸能祭を11月3日に文化会館で開催する。出演予定は18団体である。

(西本教育長) みなぎの書道展の出品校及び出品点数は、昨年と比較してどうであったか。

(金井文化・スポーツ課長) 昨年は、233学校・園等から9,162点の出品があった。

(石田教育総務部長) 少子化の影響によるものなのか、毎年減少傾向に

あるが、今年度は毎年約500点出品していただいている学校からの出品がなかったため、出品点数が大きく減少した。

(3) 学校教育課報告事項

○坂田学校教育課長が、次のように報告した。

第7回定例校園長会を10月4日に開催した。運動会を記載のとおり開催した。自然学校を平田小学校及び自由が丘東小学校が記載のとおり実施し、これですべての小学校が自然学校を終えた。教育委員会計画訪問指導を記載のとおり実施した。学校再編地域部会全体会を10月10日に開催し、参加者は69人であった。

今後の予定として、第8回定例校園長会を11月6日に開催する。文化祭、音楽会を記載のとおり開催する。教育委員会計画訪問指導を兼ねた学力向上研究発表会を11月1日に広野小学校で実施する。

(大北委員) 第7回校園長会で県費負担教職員の人事評価やストレスチェックの結果を報告されているので、それに関して今、大きく報道されている神戸市立東須磨小学校の教員暴行・暴言問題について、三木市教育委員会事務局としてはどのように考えておられるのか聞きたい。

(坂田学校教育課長) 子どもたちを指導する立場の教職員として、あってはならないことと認識している。本市においても、このようなことが起こらないよう、市を挙げて未然防止に取り組んでいかなければならないと考えている。今回の事案を受け、校園長研修会においても校長及び園長に対し、教職員の人間関係を注意深く見守るよう指示している。人事評価では、校園長と教職員の個人面談があるため、校園長は一人一人の教職員から人間関係等による悩みがないかを観察し、その結果について教育委員会との校長面談の中で報告するよう指示している。

(石井委員) 例えば、管理職からパワハラを受けた場合、果たして校長を通して教育委員会へダイレクトに話が届くのかを考えると、それは難しいと思う。そうになると、校長を通さず直接声が届くようなシステムや組織を確立する必要があると考えるが、今後の対応について聞きたい。

(坂田学校教育課長) ハラスメントがあった際には、教育委員会が相談窓口になることを教職員に対して周知している。しかしながら、教職員の立場からすると、教育委員会へ直接相談することは、敷居が高いことは事実である。直接、教育委員会へ相談し難い場合には、学校外部に共済組合など別団体の相談窓口も設けられているので、周知を図っている。

(浦崎委員) 今回のような問題が発生した場合、教育現場の中で校長や教頭が正しく、的確に対応できるかどうかがとても重要であると思う。しかしながら、現場だけに任せるのではなく、教育委員会としても積極的な指導を行うことが必要であると考えます。三木市では、三同教の研修会等を通じて人権問題の解決に取り組まれているので、このような中で校長や教頭など管理職への指導、教育も行っていたきたい。

(坂田学校教育課長) 人権に関する研修については、様々な機会を設けており、教職員に対しては、それらに積極的に参加することにより、自らの人権感覚を高めていくよう指導している。また、ハラスメント等の事案が発生した場合には、些細なことであっても学校長から教育委員会へ報告するよう指示している。ハラスメントの未然防止を図るため、今後も教育委員会と校長が密に連携していきたいと考えている。

(石井委員) 教職員が悩むことが多ければ、それはすべて子どもたちに返ってくる。それが何よりも問題であると思う。教育委員会の敷居をもっと低くし、教職員が相談に行きやすい環境にさせていただくことを強く願う。

(大北委員) 学校には様々な職種の方々が一緒に仕事をしておられ、それぞれが三木市の教育に深く関わっていただいているが、その方々に対してアンケートを実施する予定はあるのか。

(坂田学校教育課長) 学校内のことであるため、まずは学校長がしっかりと状況を把握することが大切であると考えている。状況の把握については、人事評価の面談等により進めてもらっているため、現時

点においては、教職員個々へのアンケートを実施する予定はない。

(西本教育長) 神戸市の事案については、他市の事案ではありますが、我が事として捉え、重く受け止めている。加害者、被害者、傍観者、いずれになってもいけない。これらのことを教職員に周知徹底しながら、先ほど課長から職員アンケートは実施しないと発言があったが、相談窓口や相談体制についての周知は必要と考える。また、管理職については、現在、校長との面談を進めているが、この中で今回の問題も取り上げ、自校における事案の有無を確認している。もちろん、教職員間だけではなく、管理職からのパワーハラスメントも考えられるため、そのあたりも十分に注意しながら面談を行いたい。

(大北委員) いじめについては、現在、文部科学省や県の指導に基づき、積極的に認知していくことにより、件数が増える傾向にある。それと同じように、教職員についても、何かあれば教育委員会に助けを求めていただきたい。相談件数が増えることが良くないことではない。教職員自身のために、そして子どもたちのために、健康な職場、健康な学校現場であるように教育委員会としてできることを惜しまずやっていきたいと思う。

(西本教育長) 多くのご意見、ありがとうございました。

(浦崎委員) 学校再編地域部会全体会が開催されたが、統合準備委員会は、予定どおり今月中に発足されるのか。

(坂田学校教育課長) 地域の方々に組織づくりへのご協力をいただき、志染・緑が丘地区は10月28日、吉川地区は10月31日に開催予定である。

(西本教育長) 10月3日の教育委員会臨時会において議決いただいた実施方針に基づき、各統合校区単位で保護者、地域、学校、教育委員会の四者で構成する統合準備委員会を立ち上げる。総務部会、PTA部会、学校運営部会、通学・安全部会の4部会において、細部にわたって協議いただき、全大会に諮るという流れになる。

(石井委員) 決定事項について、教育委員会で報告するなど、定期的に情報提供して欲しい。

(西本教育長) 全体会は公開するが、部会については意思形成過程の案件を協議するため、非公開を考えている。決定事項については、教育委員会で報告するとともに、保護者や市民の皆様にお知らせしていく。

(浦崎委員) 協議内容は多岐にわたるため、全大会及び部会が滞りなく運営できるよう、事務局で舵をとって欲しい。

(大北委員) 学校再編地域部会全体会の内容及び参加者並びに決定事項の周知方法について詳細を説明願う。

(坂田学校教育課長) 学校再編地域部会全体会では、喫緊の課題のある校区以外において進捗状況を報告できていなかったため、実施方針について説明し、質疑応答の時間を設けた。参加者は、地域部会に選ばれた方である。

(西本教育長) 学校再編について、喫緊の課題校と三木市の教育の将来像を考えた当初は、市全体の課題ということで、市内全8中学校区ごとに地域部会を立ち上げた。その後、協議していく流れの中で、喫緊の課題校についてまず取り掛かることとなり、対象校区の地域部会は何度も開催したが、それ以外の地域部会では十分な説明ができていなかったため、10月3日の教育委員会臨時会での実施方針の決定を受け、このたびの全体会の開催に至った。

統合準備委員会の内容については、広報でお知らせすることが基本であると考えている。決定事項は、単独校だけで決定する内容、統合後の学校として決定する内容、全市的にお知らせすべき内容などがあるため、それらを精査の上、できる限り周知に努める。

(大北委員) 市民の皆様にも、学校再編は三木市全体の課題であると認識していただくためにも、教育委員会から積極的に情報を提供し、周知する機会をできる限り作っていただきたい。

(西本教育長) 広報みき 1 1 月号では、学校再編の実施方針についてお知らせする。それ以降も、将来像としての小中一貫教育について、事務局で研究した内容をお知らせする必要があると考えている。

(大北委員) 運動会について、今年度すべての学校で終了したことになるが、当日または練習中に組体操による怪我はなかったか。また、来年度以降の組体操の実施について、教育委員会としての見解を説明願う。

(坂田学校教育課長) 組体操による怪我の報告は受けていない。今年度実施した学校では、安全な実施に向け、細かく計画を立てており、児童が達成感を味わうことができたと報告を受けている。今後、組体操を実施するか否かは、学校が実情に合わせて決定すべきか、教育委員会として方針を出すべきか検討していく。

(西本教育長) 今年度は、中学校では実施されず、小学校の約半数において実施された。実施については、学校の管理運営事項であり、学校長の判断によるべきと考えていたが、人権尊重のまちづくり審議会の中で、組体操は怪我の発生率及び重症率が高く、子どもの人権に関わるのではないかという意見があった。それを受け、教育委員会としての見解を来年度に出すべく、事務局へ研究するよう指示をしている。

(大北委員) 怪我がゼロであったことは、学校現場が安全面を重視して指導され、子どもたちも本当に頑張られたことと喜ばしく思う。6月の教育委員会定例会において、今後の組体操に対する見解をお聞きした際、春に実施した学校もあるため、年度途中で学校へ指示をすることはできないという回答であった。他市における組体操に対する見解が報道されているが、三木市としても、再度組体操の意義を見直すべき時期が来ていると感じる。組体操に代わる種目を披露した中学校及び組体操を実施した小学校の現場の教員や児童生徒の思いを調査の上、早急に教育委員会としての見解を示して、来年度を迎えていただきたい。

次に、6フレンドリーウォークについてお聞きする。10年目の節目を迎え、昨年教育委員会定例会において、1中学校に複数の

小学校から通うことになるため、小学生同士の交流を目的に実施しているが、小中連携教育が進み、目的はほぼ達成されており、10年目以降のことは次年度に検討したいと事務局から説明をいただいた。6フレンドリーウォークの開催に当たり、学校では、当日の授業時間を削ることとなり、負担が大きい。子どもたちにとって得られるものはあるのか疑問に思う。新年度の予算編成の時期に来ているが、この事業の今後について聞きたい。

(坂田学校教育課長) 現在は、この事業以外にも小中連携教育が進み、模擬授業や部活動の体験など、同じ中学校へ進学する児童が交流する場を設けている。また、来年度は新学習指導要領が完全実施されるため、授業時間を35時間多く確保しなければならない。これらのことも踏まえ、実施10年目の節目を迎えた今、6フレンドリーウォークを今後も継続するか否かについて、十分に検討していきたいと考えている。

(大北委員) 授業時間数を確保するため、学校行事を精査するなど、学校現場においても何かを削って授業に充てるという努力はされている。市として全校で一斉に行事をする、1日のうち数時間を割くことになるため、子どもたちにとって本当に効果のある事業にしていただきたい。

(西本教育長) 新学習指導要領による時間数の確保と学校再編が動いている状況であり、どこかの時点で小中一貫教育への切り替えも必要になってくると思われる。そのことも踏まえ、事務局で検討して欲しい。

(浦崎委員) 中学校新人体育大会及び中学校総体駅伝大会が開催されているが、三木市の児童生徒の体力が全国平均と比較して下回っていることを危惧している。学力と並行して、体力の増強にも力を入れて取り組んでいただきたい。

(4) 教育センター報告事項

○橋本教育センター所長が、次のように報告した。

教育センターの実施した事業として、研修講座「授業を成立させる

ための基礎・基本」を教員の初任者及び若年層を対象に記載の日程で実施し、参加者は23人であった。教育相談は、教育問題等が本人及び保護者から46件、教員から2件、ICTに関する相談が73件であった。不登校対策適応教室事業は、9月末現在13人が在籍している。

青少年センターの実施した事業として、人の目の垣根隊意見交換会を記載の日程で開催した。大宮神社秋祭及び岩壺神社秋祭特別補導を記載の日程で実施し、特に大きな問題はなかったと報告を受けている。今後の予定事業については、記載のとおりである。

(石井委員) 研修講座「授業を成立させるための基礎・基本」の参加者23人は、初任者である教員のうち何割に当たるのか。

(橋本教育センター所長) この講座は、初任者すべてが対象となるため、全員が受講している。

(5) 教育・保育課報告事項

○正心教育・保育課長が、次のように報告した。

実施した事業として、幼稚園、認定こども園及び保育所の運動会を記載の日程で開催した。自由が丘幼稚園及び緑が丘東幼稚園は、雨天のため翌日に延期して開催した。令和2年度認定こども園及び保育所の児童募集を10月7日から11月15日まで受付している。アフタースクール支援員研修会を「発達障害の基礎知識」をテーマに記載の日程で開催し、参加者は59人であった。令和元年度冬休みアフタースクール及び令和2年度アフタースクール入所の児童募集を10月15日から11月2日まで受付している。

今後の予定として、特定教育・保育施設第三者評価を記載のとおり実施する。特定教育・保育施設の監査に関する研修会を記載のとおり開催する。令和2年度幼稚園の児童募集を11月5日から15日まで実施する。

(6) 生涯学習課報告事項

○近藤生涯学習課長が、次のように報告した。

実施した事業として、令和元年度 第1回公民館運営審議会を9月24日に開催し、各公民館の活動目標及び事業進捗状況について報告

した。第34回東・北播磨学ぶ高齢者のつどいが10月11日に加東市滝野文化会館で開催され、三木市高齢者大学から20数名が参加した。

今後の予定事業として、志染地区地域づくり研究大会を11月10日に開催する。内容は、人権教育研究大会で人権作文朗読、実践発表及び講演会を予定している。北播磨地区子ども会議を11月17日に西脇市茜が丘複合施設で開催する。北播地区の子どもたちが参加し、テーマ「食べ物（もったいない。）のこころを学ぼう」について交流学習を行う。

(7) 図書館報告事項

○伊藤図書館長が、次のように報告した。

「おとなのためのわくわく夜の図書館コンサート」を関西国際大学が主催で9月21日に中央図書館エントランスで開催し、参加者は116名であった。「すくすくの親子クッキング&おはなし会」を吉川図書館を考える会すくすく主催で9月24日に吉川健康福祉センターで開催し、参加者は9組であった。「えいごでおはなし会」を10月14日に青山図書館地域交流室で開催し、参加者は17人であった。

今後の予定として、「ハロウィンのおはなし会」を10月27日に吉川図書館で開催する。「図書館マナーアップキャンペーン」を11月1日から30日まで各市内図書館で実施する。内容は、マナー周知ポスターの掲示及び汚破損本の展示である。「絵本と音楽のライブツアー2019」を11月3日に青山図書館、11月4日に吉川図書館、11月9日に中央図書館で開催する。内容は、絵本の読み聞かせとキーボード・ギターの演奏である。定例で実施する事業は、記載のとおりである。

(大北委員) 「おとなのためのわくわく夜の図書館コンサート」は定員を超える大勢の方が参加され、盛況であったことは非常に喜ばしい。アイデアを出して、新規事業を実施していくことはとても良いことであると思う。

実際に図書館へ足を運ぶと、新刊や話題の本がカウンターに並んでいることが少なく、貸出まで長期間待たなければならないことが多い。また、貸出可能な本は、古く傷んでいる印象があり、手ぶらで帰ることもある。予算の関係もあろうかと思うが、新刊が出ても、

図書館に行けばあるという期待感を持ちにくく、足が遠ざかってしまうのではないか。

(伊藤図書館長) インターネットによる予約ができるため、話題の本については受入後すぐに貸出されている。予約が多い場合は、複冊購入することもある。

市民一人当たりの貸出数を示す貸出密度は、平成29年度の実績では、県内で29市中第1位、人口規模の貸出冊数では全国110市中第3位であった。これは図書館における貸出が活発であることを示す指標である。

(大北委員) 素晴らしいことである。広報などで大きくPRすべきである。

(石井委員) 図書館内でもPRすべきではないか。市民にとっても良い刺激となり、誇りに思えるのではないかと感じる。

(浦崎委員) 「えいごとおはなし会」を中央図書館や吉川図書館で開催して欲しい。

(伊藤図書館長) 開催できるように検討していく。

日程第9 その他

(1) 事務局に対する委員からの意見

○大北委員が次のように発言した。

平成30年11月の教育委員会定例会において、平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について(案)が非公開で協議された。家庭へ配布する文書案について、委員から多くの意見が出たが、12月に配布されることが決まっており、大きく変更することは不可能であった。協議をするのであれば、文言のことではなく、もっと根本的なことで議論がしたいため、時期を早めて欲しいと申し上げたが、今年度も同じような流れとなっている。家庭へ配布する文書について協議する必要はないと感じる。それ以前の問題である学力向上について議論し、「みっきいすてっぷ」についても詳細を説明いただくことが市民の皆様への説明にもなると感じる。早めに議事を用意していただく

ことを再度要望する。

(坂田学校教育課長) 協議いただく資料を早急に準備し、議事の挙げ方についても再考したい。

(西本教育長) 制度的なことも含め、根本的なことから議論するよう、再度検討する。

日程第10 次回定例会の開催日程について

教育長が、次回の教育委員会定例会の開催日程について諮り、令和元年11月20日午後3時から開催することを決定した。

閉 会

教育長が、令和元年10月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。

【令和元年10月三木市教育委員会定例会会議録】

教 育 長

署 名 委 員

署 名 委 員

記 録 者